

平成26年度

学校運営に関する計画
中間評価



大阪市立中本小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

校区は古くから続く地域で、学校に対して親しみを持っておられる方が多く、本校の教育活動に対して協力的である。その中で、生活面で課題を持つ児童や発達障害と考えられる児童が各学年に在籍し、緊急の転出入もあり、児童の生活・学力実態は多様である。

今後、少人数での2学級が単学級になり、児童が集団の中で判断力をつけていく教育内容がより必要になり、その中で児童の自尊感情を高め、基礎学力の定着を図る取り組みを進めなくてはならない。

学力の向上

学力に関しては、全国学力・学習状況調査では国語のA、算数のA・Bが全国平均を上回っていた。国語科は基礎的な力は定着してきているが、読むことへの理解を深める指導がより必要である。今後、児童のレディネスに応じた学習形態や指導方法を工夫しなければならない。算数科はすべての領域で全国平均を上回っているが、特に数と計算領域でそれが目立っている。また、量と測定では、その差は少ない。これは少人数指導で基礎的な学力の定着が図られているためだと考えられる。今後も少人数習熟度別学習を計画的に進めていきたい。

学習に対する意欲や取り組み状況は市より国の平均に近かったが、「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」の項目だけが市の平均よりも低く、話すこと聞くことについて本校の学力実態の課題との関連が見られた。生活習慣に関してもプラス面は市の平均よりも高く、国の平均とよく似た傾向が見られた。学習習慣も同様の状況が見られるが、文を書くことが難しいと感じたり、授業の中で話し合う活動が少ないと感じたりしている点が市よりもプラス面が少なく、算・国の学力実態関連があると考えられるので、言語活動を本校の研究目標に取り上げていきたい。

道徳心・社会性の育成

一昨年度から道徳を、昨年度からは道徳と体育を研究教科にし、教職員全体で共通理解のもと計画的に取り組んできた。また、縦割りグループで集会活動を週一回行ったり、体育学習をグループ学習中心で進めたりしてきているので、児童の社会性が育ち、各学級・学年は落ち着いた状況で学習に取り組んでいる。生活指導面では月1回の生活指導連絡会の中で児童・生徒の状況についての情報を把握し、保護者との連携も密に行っているため、問題行動にすばやく対応できているが、不登校児童が在籍している。今後、関係諸機関と連携しながら、個別の課題解決に取り組んでいきたい。

健康・体力の保持増進

男女ともに体力合計点が全国や大阪市の平均を上回っている。また、どの種目においても全国や大阪市の平均を大きく下回る種目はなかった。

本校では学期ごとに運動週間を設け、児童が屋外で体を動かす取り組みを進めてきた。また、季節に応じた種目を体育の授業で取り上げ、児童にいろいろな運動への出会いの場を設けてきた。授業においては、一人一人の運動量の増加を意識した授業を行っている。

今後は、これまでの授業形態や活動を継続するとともに体力増進や柔軟性を促進する運動を授業の導入に組み込むなどして、児童の運動基礎能力の向上を図っていきたい。

朝食を毎日食べる児童は、全国や大阪市の平均よりも上回っており、92,3%あった。毎日食べない児童は0%で本校の男子児童ほぼ全員が朝食を食べて登校している。

一日の睡眠時間は6時間未満の児童が12,0%で、全国や大阪市の平均よりも上回っている。また、6時間～8時間未満や8時間以上に関しては全国や大阪市の平均よりも下回っている。このことから都会型の生活習慣に移行している子どもが多い。

本校が進めている保健指導で朝食や睡眠に関しての効果はあるものと考えられるが、夜型の生活時間の家庭が増えているので、保護者とともに生活習慣の改善に取り組んでいきたい。

中期目標

【視点 学力の向上】

○「全国学力・学習状況調査」等の結果を分析し、基礎学力の向上を目指した学習指導計画の作成を進める。同時に教職員の指導力を高め、「わかる、できる、やった」と思える授業作りを進め、児童一人一人の学力の向上を図る。(マネジメント改革関連)

○学習理解度到達診断における正答率50%以下の児童の割合を平成25年度より全学年で減少させる。(カリキュラム改革関連)

○本校児童対象の学校アンケート調査で「学習がよくわかるようになった」「学校で勉強するのは楽しい」の項目について肯定する回答を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)

○平成27年度までの授業アンケート調査で「お子さまは、授業の内容がわかるようになっていませんか」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を5%向上させる。(ガバナンス改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○児童一人一人の生活実態を正しく把握し、人間尊重の感性を高め、自他を尊重し、協力する児童を育てる。(マネジメント改革関連)

○平成27年度の本校の児童対象アンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を90%以上にする。・「あいさつができるようになった」・「友だちのいいところを見つけ、いじめたり悪口をいったりしない」・「学校に行くのは、楽しい」(カリキュラム改革関連)

○平成27年度の本校の保護者対象アンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を、平成24年度よりもポイントを増加させる。・「学校は、お互いのよさを認め合い、いじめを見逃さないように指導している」・「学校は、学校のきまりや社会のルールを守るように指導している」・「家庭では、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせている」(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○「全国体力・運動能力、運動習慣」等の調査結果を分析し、問題点を明らかにし、体育、健康教育の学習内容を見直すことで取り組みを充実させ、心身とも健全で最後までがんばる児童を育てる。(マネジメント改革関連)

○平成27年度における本校の校内体力調査において、平成25年度の全国体力テストの数値よりも向上させる。(カリキュラム改革関連)

○本校のアンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を90%以上にする。児童アンケート・「自分の体や健康について、学ぶことができている」保護者アンケート「学校は生活習慣や食生活に関心を持たせ健康な生活を送れるように指導している」。(カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)

2 中期目標に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

○学習理解度到達診断における正答率50%以下の児童の割合を平成25年度より減少させる学年を増やす。(カリキュラム改革関連)

○本校児童対象の学校アンケート調査で「学習がよくわかるようになった」「学校で勉強するのは楽しい」の項目について肯定する回答を平成25年度よりも向上させる。(カリキュラム改革関連)

○授業アンケート調査で「お子さまは、授業の内容がわかるようになっていきますか」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を前年度よりも向上させる。(ガバナンス改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

○本校の児童対象アンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を平成25年度よりも向上させる。・「あいさつができるようになった」・「友だちのいいところを見つけ、いじめたり悪口をいったりしない」・「学校に行くのは、楽しい」(カリキュラム改革関連)

○本校の保護者対象アンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を平成25年度よりも向上させる。・「学校は、学校のきまりや社会のルールを守るように指導している」・「家庭では、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせている」(ガバナンス改革関連)

○本校の保護者・児童アンケート調査において「学校は、お互いのよさを認め合い、いじめを見逃さないように指導している」「友だちのいいところをみつけ、いじめたり悪口をいったりしない」の2項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を平成25年度よりも向上させる。(マネジメント改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

○本年度の本校の校内体力調査において平成24年度の全国体力テストの数値よりも1つの項目以上で向上させる。(カリキュラム改革関連)

○本校のアンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を、平成25年度の数値を維持する。児童アンケート「自分の体や健康について、学ぶことができている」保護者アンケート「学校は生活習慣や食生活に関心を持たせ健康な生活を送れるように指導している」。(カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市中本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価規準	A：目標を上回って達成した	C：取り組んだが、目標を達成できなかった
	B：目標どおりに達成した	D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学校経営】</p> <p>児童の願いや実態を正しく把握し、教育内容の充実を図り、自己肯定感を育むことを基盤としながら、児童一人一人が必要としている力をつける。(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【区分 教育課程の充実】</p> <p>児童の生活・学力実態を正しく理解することから、教育内容を検討し、教育課程の充実を図る。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校経営方針を十分に説明するとともに教職員への理解を図る。 ○全教職員で「教育課程」や「運営の方針」を作成する。 ○組織的な検証・改善サイクルを実践し、目標を達成する。 	
<p>取組内容②【区分 学校・家庭・地域との連携の推進】</p> <p>学校の教育目標や教育課程・教育活動についての理解を深め、教育支援活動を活発にする。(ガバナンス改革関連)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○web ページや学校だより・学年だよりを通して、学校の教育内容を保護者や地域に発信する。 ○懇談会等の機会をとらえて教育活動と教育目標との関わり等を明らかにする。 	
<p>取組内容③【区分 学校・家庭・地域との連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者が学校に訪れる機会を増やし、教育活動に対する理解を深める。 ○地域の方に教育活動の内容を発信し、理解を深める。(地域サポート改革関連) 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎月1回程度は保護者が学校に訪れる機会を作り、保護者の教育活動への理解度を高める。 ○保護者に知ってもらえる教育活動の目的や効果を具体的に伝える。 ○地域の方にも来校していただける活動を検討し、来校の機会を増やす。 	
<p>取組内容④【区分 学校評価の充実】</p> <p>組織的な検証・改善サイクルを実践し、保護者の学校教育に対する満足度を高める。(ガバナンス改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行事のアンケート、年度末の保護者・児童アンケート等を実施し、客観的に事象を捉える。 ○活動の充実・推進、児童の育成について具体的な方策を挙げ、実践する。 	
<p>取組内容⑤【区分 安全対策】</p> <p>児童の安全性を高め、緊急事態に対応できる教職員組織の充実を図る。(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○警察と連携し、職員への防犯実技訓練、防犯避難訓練を実施するとともに、教職員の対応スキル 	

<p>を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員の危機管理意識を向上させる。 ○緊急時の校内、地域の巡視体制を確立させる。 ○保護者アンケートの安全対策に関わる項目の満足度を80パーセント以上にする。 	
<p>取組内容⑥【区分 組織運営】</p> <p>学校運営の効率化を進める。(マネジメント改革関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各校務分掌部での課題を明確にし、組織的な検証・改善サイクルを実践する。 ○校務支援システムを活用し、運営の効率化を図る。 	
<p>取組内容⑦【区分 教育環境の整備】</p> <p>児童の学校生活の安全を図り、児童・保護者が安心できる教育環境の充実を図る。(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設・設備の安全点検を毎月1回、校内・通学路の安全点検を学期に1回実施し、適切な改善・維持・整備を行う。 ○保護者アンケートの児童の安全に関わる項目の満足度を85%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営方針を周知するとともに、機会ごとに再確認を行い、共通理解に努めている。 ・各活動においてその都度、反省点等のデータを集めているが、検証・改善サイクルの実践までには至っていない。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年便りは定期的に発行している。 ・webページは各行事ごとに更新し、閲覧者数も増えている。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業の実施も定着し、保護者や地域の方が来校する機会が増えた。 ・保護者や地域の方が来校する機会を設けたが、学校理解や教育活動への関心や理解を深めるには至っていない。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは実施している。 ・行事後には反省をし、見直しが適切に行われている。また、保護者にもアンケートを取り、客観的に取り組みを見直すように努めている。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との合同の防災訓練を実施し、交流を持つことができた。 ・警察との防犯実技訓練を実施し、防犯についての共通理解を高めることができた。 ・計画に沿って、訓練や点検を行い、教職員の危機管理意識の継続を図っている。 ・毎月安全点検、学期に1度の校内・通学路安全点検を行うことにより、安全が確保している。
⑥	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌部会を月に1回程度開き、学校運営の効率化に努めている。
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検が実施されている。 ・指標通り、安全点検を行い、安全が図られている。 ・毎月安全点検、学期に1度の校内・通学路安全点検を行うことにより、安全が保たれている。

今後の改善点

- ①今年度の教育課程（各指導計画等も含む）の見直しと並行して、来年度の教育課程を年度末までに作り上げる。
- ②教職員による地域へのかかわる機会を増やし、教育活動への理解をより深めていく。
- ③各活動において、目的やねらい、学習効果や活動後の子どもの変容を保護者や地域の方々に分かりやすく伝えていく手立てを工夫する。
- ④各行事の全体での検証を行う場を計画的に設定して、検証・改善サイクルを実践する。
- ⑤短時間での緊急対応のシュミレーションを実践を定例化して、非常時の指示体制を確実なものにしていく。
- ⑥校務支援用パソコンの活用を具体的に全員で実践していく。
（例、特別教室等の使用予定表、備品・物品使用予定表等）
- ⑦学習活動だけでなく、安全点検等も紙面やw e b ページに載せ、保護者や地域に学校の実践活動を知らしていく。

大阪市中本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価規準	A：目標を上回って達成した	C：取り組んだが、目標を達成できなかった
	B：目標どおりに達成した	D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○学習理解度到達診断における正答率5割以下の児童の割合を減少させる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○本校児童対象の学校アンケート調査で「学習がよくわかる」「学校でみんなと勉強するのは楽しい」の項目について肯定する回答を80%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○授業アンケート調査で「お子さまは、授業の内容がわかるようになっていきますか」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を前年度よりも向上させる。(マネジメント改革関連)</p>	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【習熟度別少人数指導の充実】</p> <p>習熟度別少人数指導などの学習形態を活用する。また、事例や実践について情報の共有化を図り、指導方法、指導体制を充実させ、学習の効率を高める。(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>単元テストの平均正答率を70%以上にする。また、単元ごとに指導方法や指導体制についてふり返り、考察する。</p>	
<p>取組内容②【個に応じた学習指導】</p> <p>個別指導、繰り返し指導実践することで、基礎的・基本的な学力の定着を図り、意欲的に学習に取り組めるようにする。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>児童アンケートで「学習がよく分かる」と思う児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【言語力の育成】</p> <p>読書習慣の定着に向けた取り組みを有効に活用したり、教科学習において図書館の図書を活用するなど、図書館を効果的に利用する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>児童アンケートで「すすんで本を読んだり、調べたりしている」と思う児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【体験的な学習の充実】</p> <p>体験的な活動を積極的に取り入れ、豊かな感性や情操をはぐくみ、主体的に学習する態度を育てる。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>年間計画を立て、それに基づいて実施、見直しをし、体験的な学習の充実を図る。</p>	
<p>取組内容⑤【特別支援教育】</p> <p>特別支援教育の充実（要配慮、支援児童への支援体制づくり）や校内研修を実施し、児童への理解を深め、指導に役立てる。(マネジメント改革関連)</p>	

指標

状況に応じた支援体制を組み、校内研修を学期に1回以上行い、情報を共有し、支援に役立てる。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①主に算数科、国語科において習熟度別学習を行っている。そのことにより、児童一人一人の実態に合わせた指導ができ、効果も表れてきている。また、授業の振り返りを行い、互いの情報を交換することで、単元ごとに指導方法や体制を工夫している。

(△・指標に達していない(数値)部分があるので、達成に向けて努力する。

・実践の交流がなされていないので、今後はその機会をもち、来年度に向けて考察していく。)

②T・Tや学習支援を活用し、個に応じた指導を行っている。また、朝の励みタイムや家庭学習において、ドリルやプリント等で繰り返し指導を行ってきている。その結果、基礎基本の定着が図られてきている。また、達成感を多く経験させることで、学習の意欲へとつなげている。

③朝の励みタイムや図書の時間、昼休みの図書館開放、読書週間など読書に親しむ機会を定期的に作っている。また、各教科においても、学校図書館や市の図書館から関連図書を借りて、調べ学習もしている。その結果、本に親しむ姿が多く見られ始めている。

④各教科や土曜授業、学校行事などで様々な体験活動を効果的に取り入れ、実践している。その結果、体験を通して実感を伴う学びができており、児童が進んで活動する姿が多く見られるようになっている。

⑤支援体制を考慮して時間割を作成し、それに基づいて個に応じた支援がなされている。また、行事やその時の状況により柔軟に対応できている。校内研修(生活指導連絡会、特別支援者会議、児童理解研修会など)定期的に行い、その場で共有された情報を支援に役立てている。

今後の改善点

①～⑤今後も継続指導していく。また、次年度に向け、今年度の反省をまとめていく。

△②～⑤児童が主体的に学ぶためのしかけを教師がしていく。

大阪市中本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価規準	A：目標を上回って達成した	C：取り組んだが、目標を達成できなかった
	B：目標どおりに達成した	D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○すすんであいさつができ、自他の尊重ができる児童を育てる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○児童が安心安全に過ごせるように、取り組みを充実させて、安全安心への関心を高める。(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【道徳教育の推進】</p> <p>毎日の登校指導を行うとともに、学期毎に児童会を中心とした「あいさつ週間」を実施することで、児童自らすすんで大きな声であいさつできるように指導する。また、「見守り隊お礼の会」を実施し、地域の方への感謝の気持ちとあいさつする態度を養う。(地域サポート改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>児童・保護者アンケート「場面に応じたあいさつができる」割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【規範意識の育成】</p> <p>生活目標を決め、その徹底を図る。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>生活目標を月曜日の朝会指導や学級指導で徹底を図り、児童アンケートで守れたと回答する児童をどの学年も80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【人権を尊重する教育の推進】</p> <p>人権教育推進体制を確立し、児童の実態に基づいた人権教育を進める。(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>人権教育研修会（区、校内）、実践交流会（区、校内）により、研修を深め、「人権教育教材集・資料」を活用しながら「人権教育年間指導計画」を作成し、児童の人権意識を高める取り組みを実施する。</p>	
<p>取組内容④【いじめ不登校への対応】</p> <p>校内及び関係諸機関との情報交流の活性化を図り、課題のある児童の学校生活について活用の方策を打ち出す。(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>全教職員が共通理解を図り、学校全体として問題解決に向かう。</p>	
<p>取組内容⑤【安全教育】</p> <p>自分自身を大切にできる心情を育てるとともに他者の安全を考える心情を育てる。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>日常生活の中での身のまわりの危険性のあるものを知り、それに対して適切な対応ができる。</p>	

<p>取組内容⑥【防災教育の推進】</p> <p>「警備及び防災の教育」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>警察や消防署など関係機関と連携し、防災教育や避難訓練（「火災」「台風」「防犯」「地震・津波」）実施に、積極的に参加して、防災意識・セーフティースキルを高める。</p>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
<p>①計画に基づき、指導が行われている。その結果、あいさつをする態度が身につくつある。教室では、全体でのあいさつだけでなく、個々にも進んであいさつができるようになってきた。しかし、声の小さい児童もいる。</p> <p>②各学級で生活目標をチェックする機会を設けている。また、折に触れて指導を行っている。その結果、毎月の目標を意識し、守ろうとする態度が育ちつつある。しかし、自ら進んで生活目標を守ることでできない児童も見受けられる。</p> <p>③年間計画に基づき、実施できている。また、人権研修会では、子どもとの関わり方や育て方について学べた。さらに、児童が学級での指導を通して、自他を認める大切さを学べている。</p> <p>④生活指導連絡会や職員会議後など、状況に応じて状況交換し、対応できている。</p> <p>⑤月に1度の安全点検、学期に1度の校内・通学路安全点検を行うことにより、安全が保たれている。</p> <p>⑥学期に1度の避難訓練、地域と共催での防災訓練を実施し、安全教育を進めている。その結果、安全に対する意識が高まってきている。</p>

<p>今後の改善点</p>
<p>①②個人差を認めつつ、継続指導を続ける。また、学校だけでなく家庭へも、HP や学校だより・学年だよりなどで啓発していく。</p> <p>③年度設置された「学校いじめ防止基本方針」に基づき、取り組んでいく。また、不登校への対応については、全教職員の理解を深めるために、ICTを活用し、開かれた形で伝えていく。</p> <p>⑤⑥今年度すでに実施した訓練を反省し、次年度へ引き継ぐ。</p>

大阪市中本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価規準	A：目標を上回って達成した	C：取り組んだが、目標を達成できなかった
	B：目標どおりに達成した	D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○平成26年度の新体力テストにおいて、本校前年度の各学年の合計得点を維持し、平成24年度の全国平均より1項目以上向上できるようにする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○平成26年度の校内アンケートにおける「自分の体や健康について学ぶことができている」の項目について、「よくあてはまる(だいたいあてはまる)」と答える児童の割合の水準を90%以上で維持する。(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【健康な生活習慣の確立】</p> <p>自己の健康について振り返り、改善するための活動を実施する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>学期に1度の健康週間の実施(遊び・運動とけがについてのアンケート)を実施し、自己の生活習慣を振り返る。</p>	
<p>取組内容②【健康な生活習慣の確立】</p> <p>自己の健康や体力について知り、正しい知識を身につけ、日々の生活で生かせるようにする。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>保健だより(毎月発行)、保健指導(健康・体力について)を活用し、学年に応じた学級指導を継続的に取り組む。</p>	
<p>取組内容③【体育的活動の充実】</p> <p>児童が楽しみながら、自己の体力に目を向け運動できる取り組みを実施する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>運動週間(学期に1回)や「外であそぶデー」、なわとび週間、マラソントイム、外遊びの呼びかけなどを定期的に行い、児童の運動機会を多くする。</p>	
<p>取組内容④【体力向上への支援】</p> <p>体力向上アクションプランに基づき、児童の体力向上を図る。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>体力テストの結果を生かし、本校独自のめあてカード「なかもと☆キッズ」を活用しながら児童一人一人が目標を設定し、意欲的に運動に取り組み、体力向上につなげる。</p>	
<p>取組内容⑤【食育】</p> <p>自己の健康に目を向け、各種の食育指導を通して食への意識が高まるよう取り組む。(カリキュラム改革関連)</p>	

指標

自己の健康への意識が高まるような取り組み、「給食残さないデー」「食器ピカピカデー」などの設定、栄養指導、各学級における給食指導、家庭科の学習を通して自己の食生活の振り返りを行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ①2学期のアンケートはまだだが、日々の指導により、自己の健康について関心をもち、見直す姿勢が見られる。
- ②保健だよりなどを活用し、定期的に考える機会を設けており、健康や体力について知り、生かそうとする意識が高まっている。
- ★データとして、昨年度と比べ、けがの頻度が減っている。(③④との関連もあり)
- ③定期的な取り組みにより、児童が意欲的に外で遊び、運動するようになり、活動が定着してきている。今後は冬に向けて定期的な取り組みを実施し、体を動かす機会を設けていく。
- ④なかもと☆キッズの活用により、児童が自己のめあてを確認し、体力向上の手立てとなっている。今後もさらに体力向上のために継続指導する。
- ⑤指標に基づいた指導の結果、食への関心の高まり、残さず食べる、食器をきれいにするなどの意識の高まりがみられるようになっている。

今後の改善点

- ①②継続指導。
- ③続指導。今後の季節に応じた取り組みの実施。
- ④なかもと☆キッズの活用方法の共通理解や体育における取組の情報交換（報告）などの実施を模索する。
- ★体育の相互参観（カードの活用時）なども考えられる。
- ⑤強調週間が過ぎると、意識の停滞感がみられることもあるので、年間を通して児童への意識づけをしていく。
- ※特に体育に関する指導者側の手立ての工夫を図る。

大阪市中本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価規準	A：目標を上回って達成した	C：取り組んだが、目標を達成できなかった
	B：目標どおりに達成した	D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 研修】 授業研究や研修会を通して、指導力の向上に取り組む。（マネジメント改革関連）</p>	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【研修の充実】 スキルアップのための研修を設定し、教育活動の充実を図る。（マネジメント改革関連）</p>	
<p>指標 教職員のアンケートやニーズに基づき、実技研修会、情報交換会を実施したり、外国語活動に関する研修を充実させたりして、指導力の向上を図る。</p>	
<p>取組内容②【授業研究を伴う校内研修の充実】 研究授業を実施し、指導力の向上に取り組む。（マネジメント改革関連）</p>	
<p>指標 本年度の研修計画に基づき、研究授業、実践事例報告会を実施する。 指導案検討会、討議会の方法を工夫し、充実を図る。</p>	
<p>取組内容③【人権研修の充実】 人権教育（在日外国人教育・障がいのある人の人権を尊重する教育等）の研修を深める。（マネジメント改革関連）</p>	
<p>指標 区だけでなく、校内でも人権研修会、実践交流会を実施し、人権教育における研修を深める。 外国人教育部会を設定し、実践報告、情報交換を行い、研修をすすめる。 支援者会議や各種の情報交換会により、児童理解を深め、日々の実践を見直すなかで、障がいのある人の人権を尊重する教育の研修をすすめる。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>年間計画に基づき、各取り組みが実施され、指導力向上への意識が高まってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究授業における指導案検討会の充実や討議会の工夫 ・ アンケートに基づく実技研修会や長期休業中の自主研修 ・ 各学級での特色ある取り組み <p>例：朝の会等における外国語活動の日常化、音楽や学級活動での遊び等を通じての異文化交流</p>

今後の改善点

- ①引き続き、校内外の研修に積極的に参加し、資料の印刷やデータ化で内容を共有するなどして、情報交換会をさらに活性化する。
- ②人権研修については、通常の学級児童の人権意識の向上をねらいとした取り組みを進めるなど、より深めた実践を計画していく。
- ③行事や会議、及び業務の精選や合理化を推進し、自主研修や情報交換会が随時、開催できる時間の確保をする。

大阪市中本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価規準	A：目標を上回って達成した	C：取り組んだが、目標を達成できなかった
	B：目標どおりに達成した	D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 仲間作り】 だれとでも仲よく協力し合って活動する。(カリキュラム改革関連)	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【学級指導】 学級・学年での様々な活動を通して、集団意識を高め、仲間作りにつなげていく。(カリキュラム改革関連)	
指標 各学年の発達段階や日々の児童の実態に応じて、活動を充実させる。	
取組内容②【児童会活動】 年間計画に基づき、幼稚園や異学年、学校全体としての交流を深め、定着させる。(カリキュラム改革関連)	
指標 学年末の児童アンケートにおける「幼稚園や異学年と交流できた。」と答える児童を80%以上にする。	
取組内容③【児童会活動】 児童集会や児童会行事を充実させ、協力して活動する態度を養う。(カリキュラム改革関連)	
指標 行事後の児童アンケートで「協力できた。」と答える児童を80%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
①学級での係り活動や「みんな遊び」「いいところ見つけ」など、活動の場を工夫して取り組むことができている。仲間意識が高まり、仲よく協力する姿が見られる。 ②年間計画に基づき、きょうだい学年や隣接学年の活動や運動会の練習など、学年に応じた取り組みが実践されている。様々な活動を通して、思いやり、協力する気持ちが芽生えている。 ③児童が企画、運営できるように担当者が支援することで、児童が協力して活動することができている。毎週の児童集会を中心に、中本フェスティバル、なかよし遠足など、縦割り班での活動を行っている。高学年はリーダーとしての自覚が高まり、他の児童も協力しようとする意識が高まってきている。

今後の改善点
○今後も継続して取り組み、集団意識を高めていく。 ○年度末に向けて、取り組み内容をまとめていく。 ・異学年の関わりの中では、低学年の高学年に対する態度について指導をしていく。 ・すべての児童がより楽しんで活動できるように、取り組み内容を考える。

大阪市中本小学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価規準	A：目標を上回って達成した	C：取り組んだが、目標を達成できなかった
	B：目標どおりに達成した	D：ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 幼稚園・中学校との連携】</p> <p>幼稚園・保育所・小学校・中学校の連携を促進し、小学校、中学校への円滑な接続を図り、学力の向上につなげる。（マネジメント関連）</p>	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【幼小一貫した教育の推進】</p> <p>年間指導計画を作成し、幼稚園・保育所・小学校が連携した教育活動を実施する。（カリキュラム改革関連）</p>	
<p>指標</p> <p>年間計画に基づき、幼稚園・保育所と交流する機会を持つ。</p>	
<p>取組内容②【研修の充実】</p> <p>幼稚園・小学校の教職員の合同研修を実施する。（マネジメント改革関連）</p>	
<p>指標</p> <p>防犯実技研修等、幼小合同研修会を実施したり、相互の学習参観をしたりする機会を持つ。</p>	
<p>取組内容③【小中一貫した教育の推進】</p> <p>「小中連携アクションプラン」を立案し、取り組みを進める。（マネジメント改革関連）</p>	
<p>指標</p> <p>「小中連携アクションプラン」に基づき、教職員の交流、連携の充実を図る。</p>	
<p>取組内容④【小中一貫した教育の推進】</p> <p>出前授業、相互の学習参観等の機会を持ち、中一ギャップ解消の取り組みを進める。（マネジメント改革関連）</p>	
<p>指標</p> <p>出前授業を実施したり、相互の学習参観をしたりする機会を持つ。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>①年間指導計画に基づき、中本フェスティバル・幼小交流プールなど幼稚園と連携した教育活動は実施できている。しかし、保育所とは小学校の遊具で遊ぶ機会を持っただけで連携した教育活動は実施できていない。</p> <p>②幼稚園教諭が小学校の研究授業・討議会や特別支援研修会に参加することができた。合同で研修することで、先を見通した指導の仕方や児童への関わり合いが学べた。しかし、小学校側から幼稚園への授業参観や研修会に参加できていない。今年度も、防犯実技研修会については合同研修を計画していたが、日程調整の面から実施できなかった。</p> <p>③教職員の交流、連携が図れていない。</p> <p>④ 相互の学習参観をする機会を持っていない。出前授業等は、3学期に実施を予定している。</p>

今後の改善点

- ①保育所と連携した教育活動を実施する。例えば、保育所から小学校の遊具で遊びに来た時に、児童も一緒に遊ぶような場面設定をする。
- ②幼稚園の様子を見に行く機会をつくる。
- ③『小中連携アクションプラン』に基づき、今後、取り組みを進める。中学校との連携を図る具体的な取り組みを考え、実現させることが必要である。相互のかかわりが少ないので、小中連携会議などを定期的に実施する。
- ④学習参観等に相互に参観する機会を持つ。まずは小学校から中学校の学習参観時に参観できるよう教員のシフトを工夫する。